

こたまコラム (矢作新報社への寄稿内容)

日ごとに春を感じる今日この頃ではありますが、皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか。

さて、先月には豊田市長選挙が散り行われ、現職の太田稔彦氏が見事再選を果たされましたが、太田氏は選挙戦を通じて、『子どもたちへつなぐ安心で活力と魅力あるまち豊田』の実現に向けて、市民力・地域力・企業力・行政力の向上を図り、少子高齢化対策や自然災害対策、更にはまちづくり等に取り組んでいきたいと訴えられ、その象徴として『WE LOVE とよた』を唱えておられました。多くの市民の皆様はその主張が受け入れられ、目標であった13万票を越す結果に繋がったのだと思います。

豊田市においては、2019年のラグビーワールドカップの開催や、2027年の東京・名古屋間のリニア中央新幹線の開業などのビックプロジェクトを控えておりますが、更なる魅力創出と、安心・安全なまちづくりに向けて、太田市長の2期目4年間の活躍を私も期待しております。

さて、愛知県政においては、いよいよ2月議会も始まり、来年度予算案を中心に審議を行っている最中ではありますが、県税収入は対前年度当初予算からは1,450億円の増額予想であるものの、税収に連動する税交付金の歳出の増等があるため、実質収入ベースの一般財源は、対前年度当初予算に対し219億円増に留まる見込みです。

一方で、歳出面においては、高齢化に伴う社会保障費の伸び等により、扶助費の確実な増加が続くため、今後も厳しい財政状況が見込まれる事から、県においてもリニアインパクトを活かしたまちづくりや産業の育成、更には少子高齢化等への対応をしっかりと行い、誰もが魅力を実感できる愛知の実現に向けて、引き続き頑張ってまいります。



愛知県議会議員

こたま よしかず

樹神 義和 